

2. 火山の概況

(平成16年8月5日～平成16年8月11日)

浅間山では、熱、噴煙、地震活動のやや活発な状態が続いている。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は2。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

桜島では降灰があった。



図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島	硫黄島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号						
33	8/5-8/11	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●	●				
32	7/29-8/4	①→②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●	●				●
31	7/22-7/28	①	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◇	●	●				
30	7/15-7/21	②→①	◆	①	●	②	●	①	◇	②	◇	●	●				
29	7/8-7/14	②	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◆	●	●	◆	◆		

注1 記号の意味
 ▲：噴火した火山
 ●：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
 ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
 ◇：その他記事を掲載した火山
 ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 浅間山 [熱・噴煙・地震・微動・火山ガス] レベル2 (やや活発な火山活動)

山頂火口内の温度は引き続き高い状態にある。10日に行った現地観測では火口内の最高温度は570℃であった(前回(7月28日)は527℃)。群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、火口内で火山ガスの噴出に伴うと考えられる高温部の面積が一時的に拡大する現象が見られている。また、7日と11日には山麓の監視カメラ(高感度カメラ)で微弱な火映現象が観測された(図2)。なお、同様の現象は7月25日にも観測されている。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上900mまで上がるのが観測された。

微小な地震は、今期間も1日あたり28～42回とやや多い状態が続いた。また、振幅の小さい火山性微動の回数も増加し、7日の10回を最高に、期間中に33回が観測された(前期間は18回)。

10日の現地観測で、湯の平(火口の西約2km)付近の植生の一部が茶色に変色しているのが見られた。前回(7月28日実施)、今回とも、火口周辺では高濃度の二酸化硫黄が観測されており、この影響を受けている可能性がある。

なお、地殻変動等他の観測データには特段の変化はなかった。



図2 浅間山 高感度カメラ(火口の南約8kmに設置)で確認された微弱な火映現象(8月7日05時頃)

◇伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

●三宅島 [噴煙・火山ガス・熱・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上1,200mであった。10日に行った上空からの観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量2,900~3,800トンで依然多い状態であった(図3)。火口内の形状に目立った変化はなく、火口内の最高温度は190℃であった。振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり8~48回とやや多い状態で推移した。

1) 警視庁の協力による

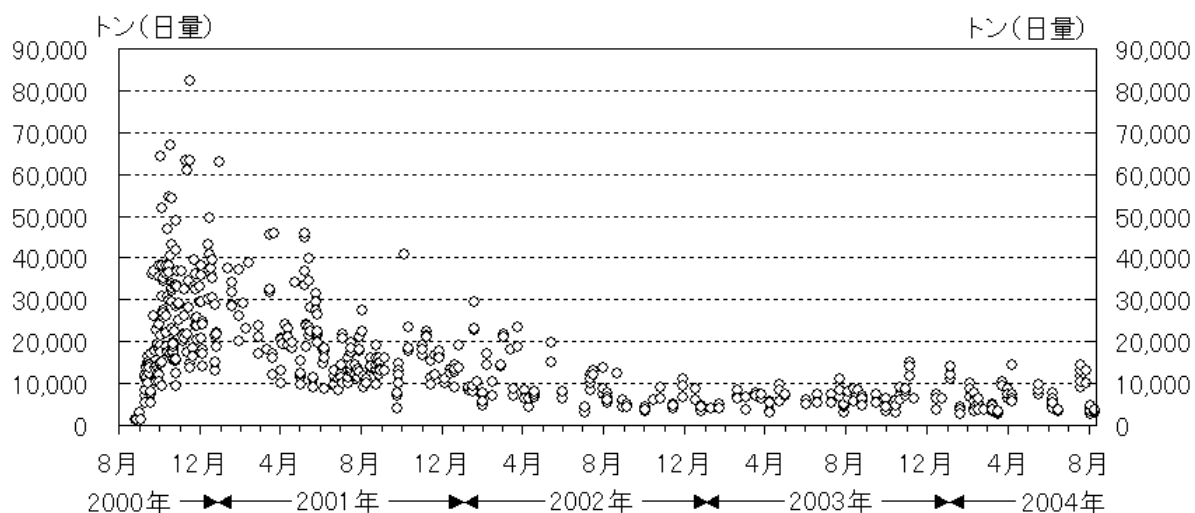


図3 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移 (2000年8月26日~2004年8月11日)

●阿蘇山 [土砂噴出・微動] レベル2（やや活発な火山活動）

監視カメラにより、5~8日及び10~11日に中岳第一火口に湯だまりが確認され、7日の湯だまりの色は灰色であった。7~8日及び10~11日には小規模な土砂噴出が確認された。湯だまりの量、土砂噴出の高さ等は不明であった。

期間中、火山性連続微動が継続した。また、孤立型微動の発生回数は今期間585回と、前期間(939回)より減少した。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上800m(前期間400m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

●霧島山 [噴気、地震]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。5~6日、8日及び10日に時々噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上300mであった。

5~6日に新燃岳の北西約8km(大霧断層付近)で地震がやや増加した。

●桜島 [降灰] レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火はなかったが(前期間もなし)、11日に鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰が観測された(前期間は8月3日に観測)。今期間の降灰量は0g/m²(1平方メートルあたり0.5g未満の微量)であった(前期間も同じ)。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第 433 号 ↓ (1日2回発表) 火山観測情報第 446 号	5日 09:30 ↓ 11日 16:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
阿蘇山	火山観測情報第 40 号	6日 11:00	火山活動は引き続きやや活発(湯だまりの高温状態継続、湯量約3割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、微動連続状態)。レベルは2。